

令和元年度 ニホンジカの捕獲実績について(速報値)

資料2

鳥獣対策・ジビエ振興室

1 第二種特定鳥獣管理計画に基づく捕獲目標と進捗状況

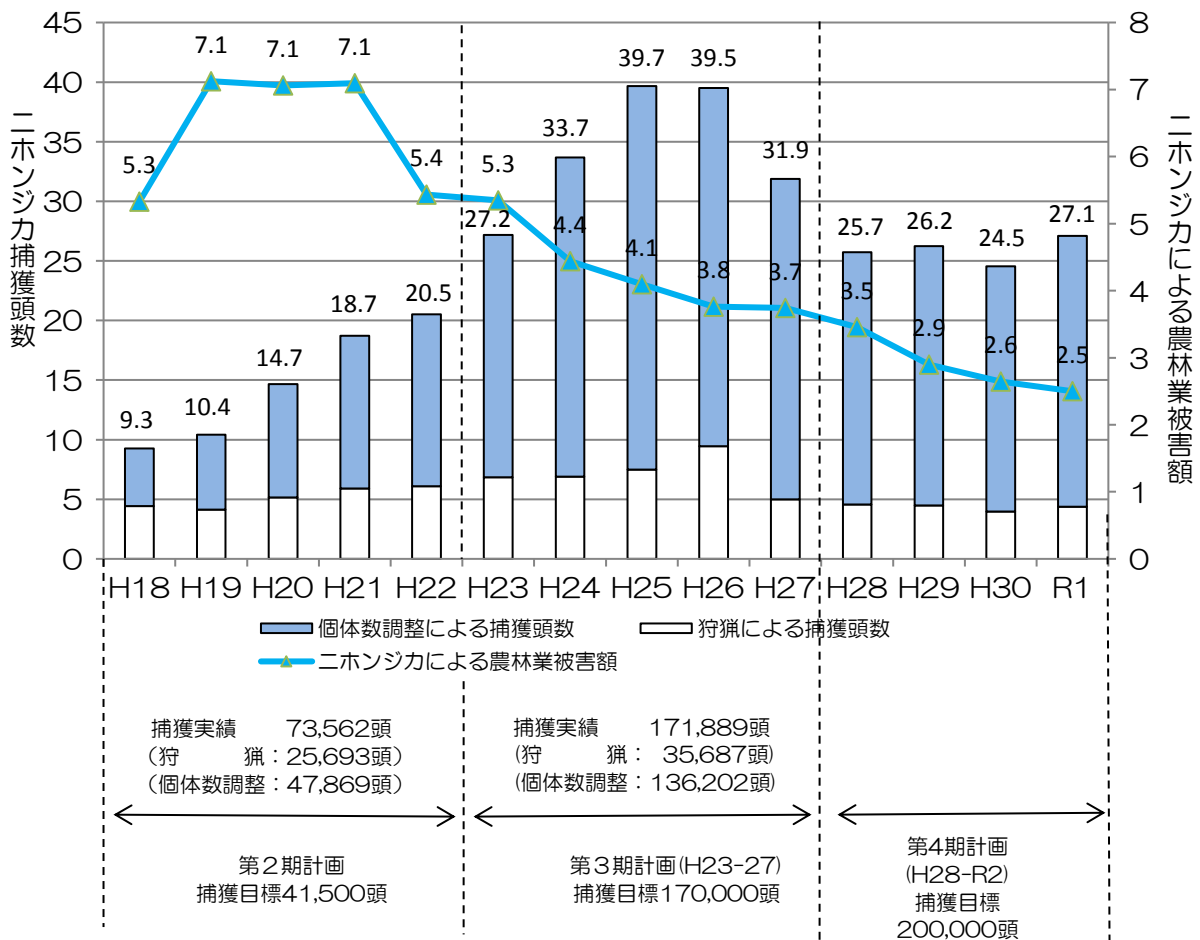
(単位：頭)

項目	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
捕獲目標 (A)		35,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
うちメスジカ (B)		26,000	29,000	23,600	23,600	23,600	26,000
捕獲実績 (C)		39,506	31,885	25,733	26,250	24,557	27,087
うちメスジカ (D)		23,784	19,256	14,878	14,637	13,057	14,206
目標達成率 (C)/(A)		112.9%	79.7%	64.3%	65.6%	61.4%	65.0%
うちメスジカ (D)/(B)		91.5%	66.4%	63.0%	62.0%	55.3%	52.4%

2 捕獲頭数と農林業被害額の推移

【単位：千頭】

【単位：億円】

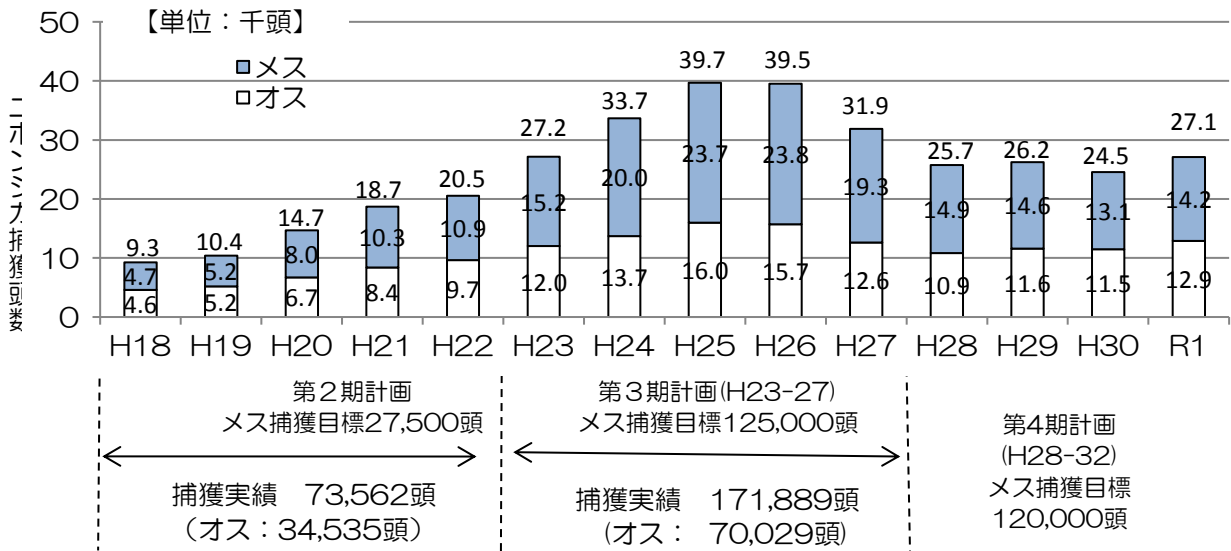


○令和元年度の総捕獲頭数は、27,087頭で、対前年比110.3% (2528頭の増)

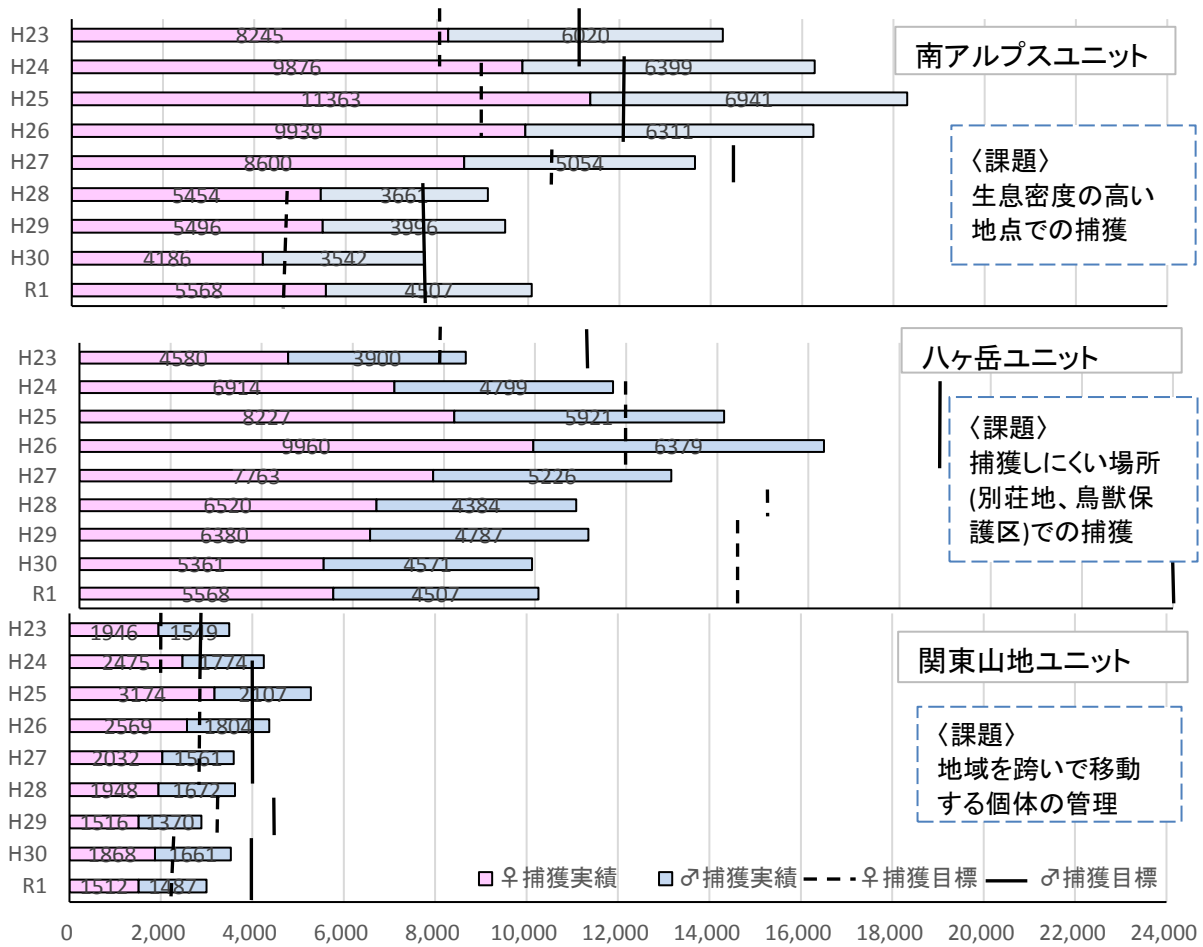
○狩猟による捕獲頭数は、4,375頭で、対前年比110.0% (398頭の増)

○個体数調整による捕獲頭数は、22,710頭で、対前年比110.4% (2130頭の増)

3 オス・メス別捕獲頭数の推移

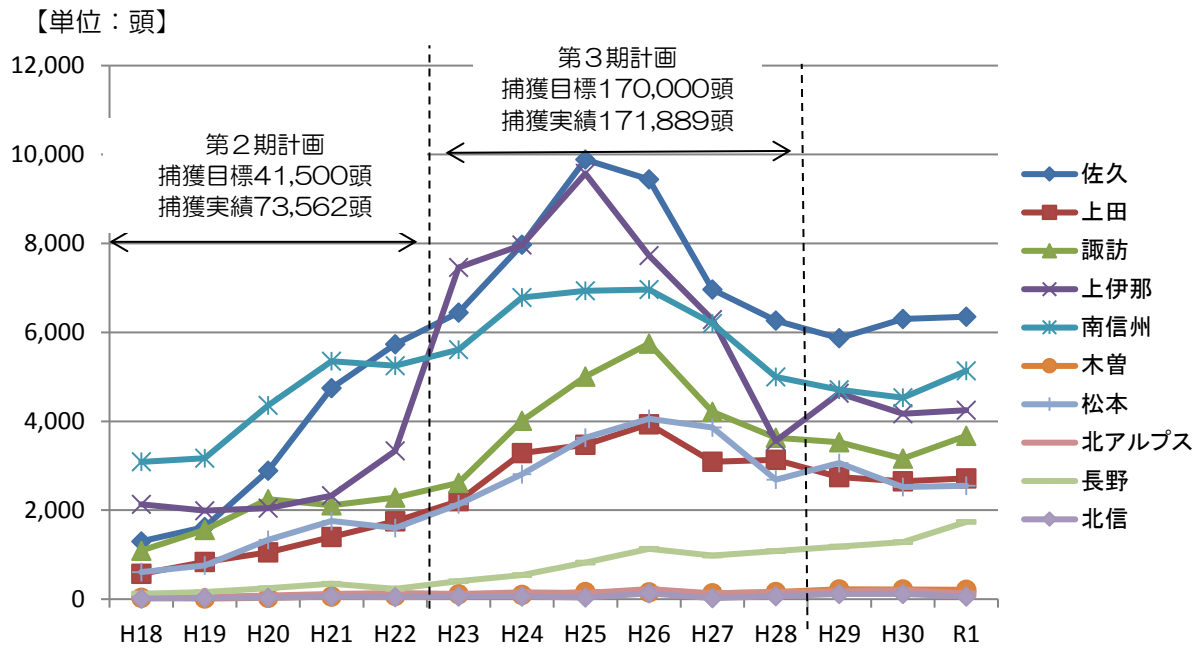


4 ユニット別の捕獲実績



南アルプスユニットは、捕獲数が増加しユニットの目標達成。ハケ岳ユニットでは目標を達成に向けて、高度捕獲技術を活用した捕獲の実証調査を継続して実施する。

5 地域振興局別捕獲頭数の推移

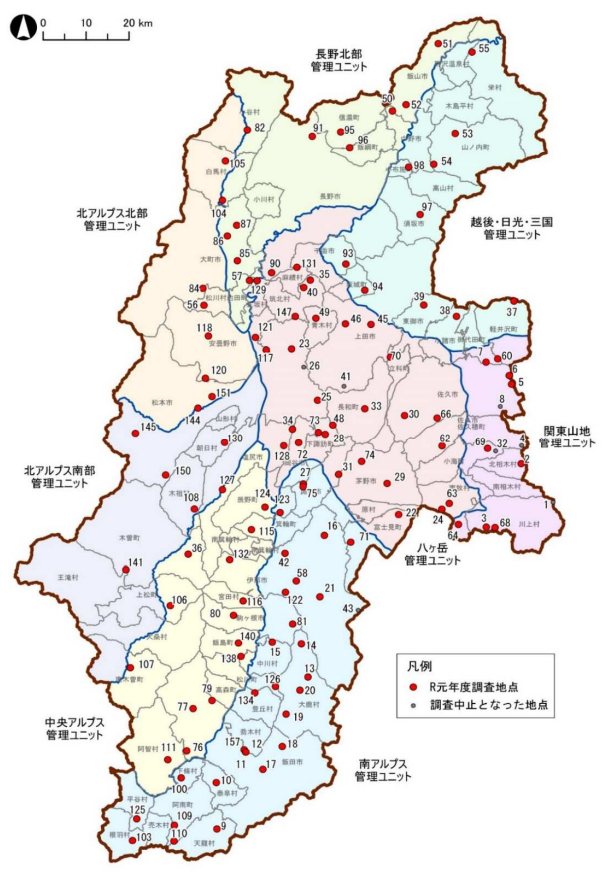
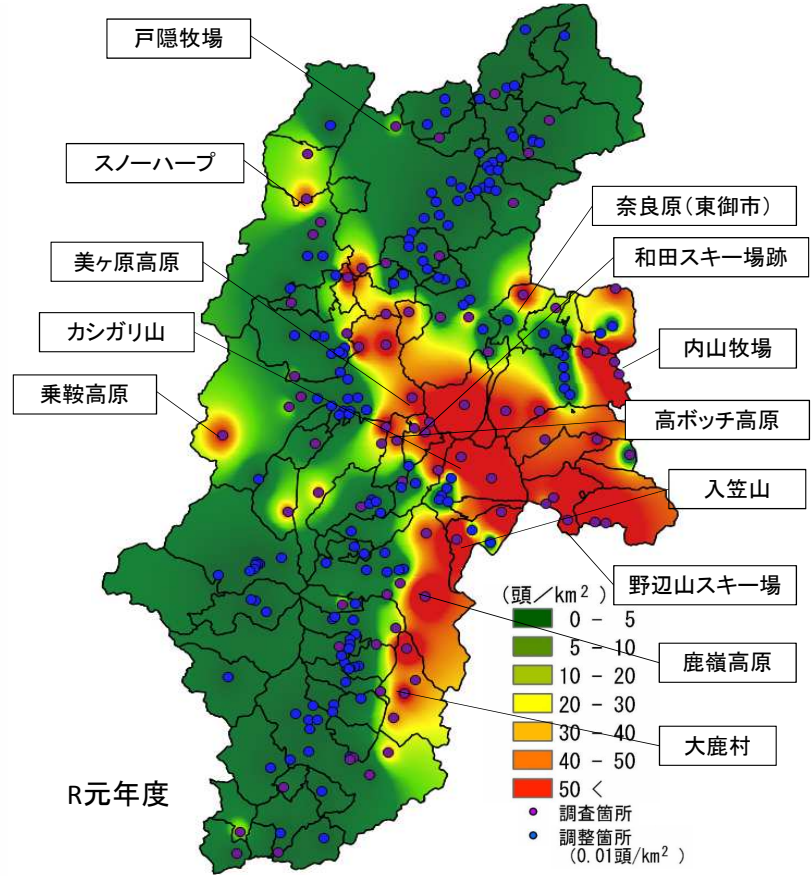
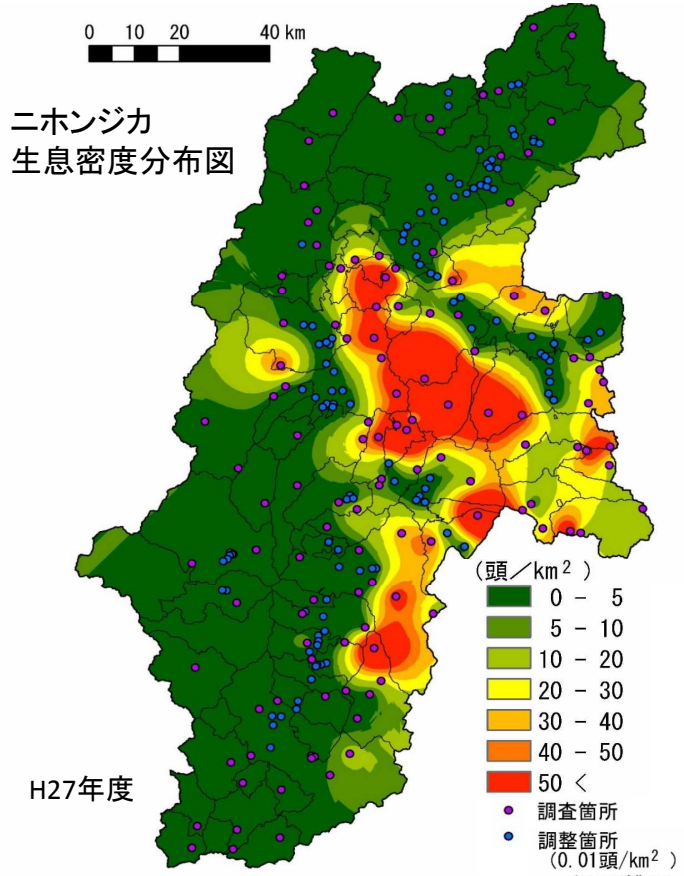


○南信州、諏訪で捕獲数が増加に転じた。密度の高い地域での捕獲を続けた結果と考えられる。長野管内の捕獲数は1,737頭（前年比135%）であり、大幅に増加した。県北部では、ニホンシカ分布が拡大傾向であり今後の動向に注意が必要である。

(参考) 獣種別捕獲報償費(国交付金)

対象鳥獣名		国交付金の 上限単価(円/頭・羽)
ニホンジカ イノシシ	食肉処理等のための施設において搬入確認搬入した場合	9,000
	焼却処理等のための施設において搬入確認搬入した場合	8,000
	上記以外の場合	7,000
ニホンザル		8,000
ハクビシン、アメリカミンク		1,000
ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワウ、サギ類		200

※市町村による独自の上乗せ有り



ニホンジカ生息密度の増減

管理ユニット	調査地番号	調査地点	生息密度(頭/km ²)	増加率(H27比)
関東山地	64	野辺山スキー場	173.77	980%
	5	内山牧場	86.4	212%
ハケ岳	74	カシガリ山	192.69	1460%
	48	和田スキー場跡	104.91	440%
	34	高ボッチ高原	54.84	276%
	25	美ヶ原・茶臼山	33.91	52%
	71	入笠山	142.78	272%
南アルプス	21	鹿嶺高原	113.78	179%
	39	奈良原	42.37	95%
越後・日光・三国	91	戸隠牧場	11.38	皆増
長野北部	104	スノーハーブ	25.96	皆増
北アルプス南部	145	乗鞍	31.14	4265%